

単元名 台風に備えて

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 台風の進路や台風が近づいたときの天気を理解するとともに、目的に応じて情報を収集し、その結果を適切に記録することができる。
- (2) 台風の進路や台風が近づいたときの天気について、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 台風が近づいてきたときの進み方や天気について、進んで関わりながら問題を解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

標準的な展開例

05050106_001

【準備等】インターネットに接続しているコンピュータ（または新聞やテレビ番組を録画したものなど）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 台風の写真や映像を見て、その後の天気や進路、自然災害について関心を持ち、単元の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風の雲写真を見て、気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雲の広がり大きい。 ・ 「天気の変化」で学習したときの雲画像よりも迫力がある。雲が厚そう。 ・ 大きな雲だから、雨や風も強くなるのではないか。 ○ 台風について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏から秋にかけて日本に近づく。 ・ 渦を巻いて進む。 ・ 大雨や強風を伴う。 ・ 非常に発達した積乱雲の集まり。 ○ 台風に向けて、どのような情報が必要かを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風は、日本列島付近をどう動くのか。 ・ 台風が近づくと、天気は、どう変わるのか。 ★ 台風は、どのように動くのだろうか。また、台風が近づくと、天気はどのように変わるのだろうか。 ○ 予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風も、春の頃に調べた雲と同じように、西から東へ動いてくると思う。 ・ 台風は、とても大きい雲の塊だから、台風が近づくと強い雨が降ると思う。 ○ 自分の予想を確かめる方法を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットや新聞、テレビなどを使って情報を集める。 ＜台風の動き＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 数日間、日本付近の雲画像を集めて調べる。 ＜台風と天気との関係＞ <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨の強さは、降水量の情報を見る。 ・ 台風の位置と降水量の情報を並べて、台風と天気の関係を確認する。 <p>2 台風の動きや、台風と天気の関係について調べる。</p> <p>★ 気象情報を集めて、台風の動きや、台風が近づいた地いきの天気を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時の予想や予想を確かめる方法を振り返り、台風に関する情報を調べ、集める。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雲画像 ・ 降水量 ・ 日本各地の天気 ・ 空の様子画像 ○ 調べた結果を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春の頃の雲の動きとは違って、台風は、南の方から北の方へ動いていった。 ・ 雲画像と降水量のデータを重ねると、台風の動きにつれて、雨の降る地域が変わっていった。 ・ 台風が近づいた所では、大雨が降ったり、強風が吹いたりして、天気が大荒れになる。 ○ 分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風は、日本付近では、北や東の方へ動くことが多い また、台風が近づくと、大雨が降ったり、強風が吹いたりする。 ・ 台風は、日本のはるか南の海上で発生し、台風が通過した後、天気が晴れになることがよくある。 <p>3 台風による災害について考える。</p> <p>★ 台風が近づくと、生活にどのような影響が出るのか、考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 台風が近づいたときの、生活への影響や被害について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨が降って洪水が起きたり、土砂崩れや山崩れが起きたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 台風接近前後に実施するのが望ましいが、録画によるテレビ放送やインターネットの台風情報などを準備しておくといよい。 ・ 教科書P. 74, P. 82～83の写真、生活経験を基にして、考えさせるとよい。 ・ 「台風」についての用語を押さえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 早めに対策をしたり避難したりできるように新聞やテレビなどで情報が伝えられていることにも触れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「天気の変化」の単元で学習したことや生活経験と結び付けて考えさせる。 ・ 「台風の動き」と「台風と天気との関係」に分けて考えさせる。 <p>【評】 台風について話し合う活動を通して、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象庁のHPや日本気象協会などでは、過去の台風進路や、その日の降水量などを見ることがのできるの、参考にさせるとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた結果と教科書P. 78～79の結果を見比べながら整理するとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風による被害については、次時で詳しく扱う。 ・ 普段の校庭などの上空の雲の動きに規則性はないことを押さえる。 <p>【評】 インターネットや新聞などで情報を集め分かったことをまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

- ・風が強くなるので、海岸の波が高くなったり、外の看板が飛んだりするので、とても危険。
- ・農業に被害が出る。
- 自分にできることについて話し合う。
 - ・台風情報をよく見て、台風が近づくかどうか注意する
 - ・台風が近づいたら、外に出ないようにする。
 - ・避難場所を確認しておく。

- ・自分の生活と関わらせながら、考えさせる。
- 【評】台風と災害について、自分の生活と関わらせながら考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

<関連>

- ・第3学年「太陽と地面」
- ・第4学年「天気による気温の変化」「水のゆくえ」
- ・中学校第2学年「気象観測」「天気の変化」「日本の気象」「自然のめぐみと気象災害」